



まちづくり志民活動助成事業 ～町民の皆さん、主役は「あなた」です～

多古町では、「志民団体」による新たなまちづくりの展開を支援するため、「まちづくり志民活動助成事業補助金」を創設しています。

町民の皆さんの豊かな発想こそが、町をより魅力ある姿へと導く原動力になります。皆さんのアイデアを形にして、これからも町の発展にご協力ください。

令和7年度 活動報告

令和7年度に採択された2事業について、3月20日(金・祝)に開催された報告会で、多古町まちづくり審査委員会が事業を審査し、各事業を実施した志民団体へ講評を行いました。なお、講評内容については、町ホームページをご覧ください。



講評内容は
こちら

多古町航空教育推進協議会「成田空港職場体験ツアー」

航空に関する基礎知識や魅力を伝える空港業務に関するレクチャーを8月に実施し、2人が参加しました。当初予定していた空港内企業の見学は、企業側の都合や募集方法が不十分だったことが原因となり、実施することができませんでした。今後は募集方法を改善するとともに、町にも相談しながら参加者を増やせるように努めていきます。

多古城郭保存活用会「並木城を続々日本100名城(仮称)にする磨き上げプロジェクト」

並木城周辺の木々を伐採し、^{のぼりばた}幟旗や解説板(計5カ所)を設置するなどの環境整備を実施しました。また、1月に開催した並木城を中心としたイベント「多古町城郭巡りウォーク」には25人が参加し、ガイディングレシーバーを使用した解説は大変好評でした。



審査結果は
こちら

令和8年度 採択事業

令和8年度分の事業に関して募集を行ったところ、3件の事業提案がありました。5月24日(日)に開催された審査委員会にて各団体のプレゼンテーションを基に選考を行った結果、以下の2件が採択されました。

- ①ちいさいタネ「こどもの「やりたい」をまちに繋ぐ、循環型ワークショップを通じた、地域コミュニティ活性化事業」
8月から令和9年2月にかけて、小学1年生から中学3年生までを対象にワークショップを開催します。カフェの営業体験やマルシェ、遊具・おもちゃ作りなどの体験をしてもらうことで、多古町のヒト・コト・モノに触れ、子どもたちの成長支援と地域の活性化につなげます。
- ②社団法人多古町古民家活用ぼんぼこ推進協議会「6次産業化スモールスタート支援事業」
6次産業化とは、生産・加工・販売を一体化させる取り組みです。本事業では、農業従事者や食品開発者などを対象に、「試作」と「小規模販売」に取り組める環境を提供し、生産物に付加価値を生みだし、ビジネス拡大のサポートをしていきます。

町では、このような町民主体のまちづくり活動を支援していただける企業、団体、個人の方々からの「志民活動支援寄付金」を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

お問合せ●空港まちづくり課都市計画係 ☎76-5408

探訪

うめすけの嵐ノ目

「旧・光町」



私事で恐縮ながら、海の日に成田山で講演会をいたします。なんと朝五時半開演で、その名も暁天講座。なぜ私なんぞにご依頼くださったかというところ、お不動様の東国上陸地が私の本籍(旧光町尾垂)だった縁です。上陸を再現したところ海が荒れて苦労されたらしく、きつと当時も地元民のお世話になっただろうと、余慶をいただきました。

いづれかを選んだのではないでしょうが、広沼という地名が残るように多古の中心部は大きな沼で、その入口あたりで川の西側も匝瑳郡域になりますから、沼は今も駅前ロータリーみたいな存在だったと想像できます。成田空港が目指しているハブ(中継拠点)機能を千年以上前に備えていた、それが不動様により裏付けられた恰好です。

新勝寺の御本尊不動明王を乗せた船は、栗山川に入ろうとして座礁したと推測されますが、偶々房総沖を通っていたわけではありません。平将門の乱を鎮めるため天皇の命でやってきた名代、現代風の表現なら最上級のVIPです。つまり、東国の表玄関は九十九里浜だった、中でも匝瑳郡だったと言えますね。

そこで新企画。よく多古町のマスコットとして使われる海の蛸ではなく、空に浮かぶ嵐になったつもりで、地域の中の多古町を俯瞰してみることにしました。どんな姿が見えるのか？私自身も楽しみにしています。

病院コラム

「乳がん検診」

今年度も町の乳がん検診が始まります。乳がんは30代から増え始め、40代後半で最も発症例が多く、早期発見・早期治療でその後の生存率が高くなります。厚生労働省では、40歳からの2年に1度のマンモグラフィ検診を推奨しています。

発見に優れています。そのため、多くの自治体ではマンモグラフィ検診が行われています。しかし、閉経前で乳腺組織が豊富な女性では正常乳腺の中にある乳がんの発見が難しいことがあります。一方、超音波検査では乳腺は白く、がんは黒く描出され、乳がんの検出に優れますが、石灰化像(早期がん)の検出には不向きです。両検査で長所短所があり、年齢などで検査方法が変わる場合があります。

また、自己チェックも有効です。入浴時など、しこりや皮膚の引きつれ、乳頭から分泌物は出ないかチェックしてみましょう。

ぜひ、この機会に乳がん検診を受けてみてはいかがでしょうか。生理前は乳房が張って痛みを感じやすいため、生理終了から1週間くらいが検診を受けるタイミングに適していると言われています。

町の乳がん検診の詳細は町ホームページまたは「保健福祉課健康づくり係 ☎76-3185」へお問い合わせください。

